

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2013年第41週  
(10月7日～10月13日)

- \* 2013年10月16日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2013年9月)の疾患及び感染症豆知識  
「五類感染症の対象疾病の追加」も掲載しています。

平成25(2013)年10月17日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2013年41週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		38週	39週	40週	41週	年累計	41週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	82	65	78	89	3,144	387	20,807
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢	3		1		29	2	120
	腸管出血性大腸菌感染症	26	10	9	3	331	67	3,368
	腸チフス		1		3	18	3	54
	パラチフス		1	1		18	1	42
四類	E型肝炎	1			1	25	1	93
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			18	1	107
	エキノкокクス症							12
	黄熱							
	オウム病					2		8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱					3		5
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					3		3
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						1	40
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					3		11
	つつが虫病		1		1	4	1	146
	デング熱	3	2	7	2	58	10	203
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						6	118	
日本脳炎						1	7	

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		38週	39週	40週	41週	年累計	41週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア					7	1	38
	野兎病							
	ライム病					7		17
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1	1	4
	レジオネラ症	1	5	1	4	64	20	858
	レプトスピラ症					3		19
ロッキー山紅斑熱								
2013/10/16集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

### ( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

#### 〈二類感染症〉

**結核 89件** 肺結核 53件、その他の結核 4件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 29件、疑似症 2件、年齢は10歳未満 4件(うち5歳未満 3件)、10代 9件、20代 7件、30代 7件、40代 7件、50代 6件、60代 16件、70代 17件、80代 12件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 84件、ベトナム 1件、モンゴル 1件、中国 1件、その他 2件であった。

#### 〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 患者 3件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 1件、O26 VT1 1件、O26 VT(型不明) 1件、年齢は5歳未満 1件、20代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 1件、その他(不明) 2件であった。

**腸チフス 3件** 患者 3件、年齢は20代 2件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、インド 2件、推定感染経路は経口感染(果物など) 1件、その他(不明) 2件であった。

#### 〈四類感染症〉

**E型肝炎 1件** 患者、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

**つつが虫病 1件** 患者、年齢は30代、推定感染地は国内であった。

**デング熱 2件** 患者 2件、年齢は40代 2件、推定感染地はインド 1件、フィリピン 1件であった。

**レジオネラ症 4件** 肺炎型 4件、年齢は60代 2件、70代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路はその他(不明) 4件であった。

※ 第40週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件の追加報告があった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2013年41週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		38週	39週	40週	41週	年累計	41週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	3	2	1	4	147	10	816
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1	1		1	61	2	224
	急性脳炎 *1			3	1	38	2	289
	クリプトスポリジウム症		1		2	5	2	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病					12		162
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	28	2	161
	後天性免疫不全症候群	7	15	10	12	383	17	1,204
	ジアルジア症	2			2	19	2	67
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2		2			9		80
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2					9		16
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	3	2	2		69	6	604
	髄膜炎菌性髄膜炎 *3	/	/	/	/		/	2
	先天性風しん症候群					8		16
	梅毒	4	11	3	10	335	16	945
	破傷風					4		107
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7		45
	風しん	12	10	8	7	3,399	17	14,171
麻しん					59	1	207	
2013/10/16集計								

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

\*3 2013年4月1日より指定が解除された。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 4件** 腸管 4件、年齢は40代 1件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は経口感染 2件、その他(不明) 2件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

**急性脳炎 1件** 病原体は単純ヘルペスウイルス、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

**クリプトスポリジウム症 2件** 患者 2件、年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触(同性間) 2件であった。うち1事例は、ジアルジア症(第41週報告)との重複感染を認めている。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** G群、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染(心臓手術後、胸部ドレーン留置)であった。

**後天性免疫不全症候群 12件** AIDS 4件、無症候キャリア 7件、その他 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 2件、50代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 3件、30代 4件、40代 1件、推定感染地は国内 9件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 10件(同性間 8件、異性間 1件、性別不明 1件)、その他(針刺し) 1件、不明 1件であった。

**ジアルジア症 2件** 年齢は40代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触(同性間) 1件、その他(不明) 1件であった。

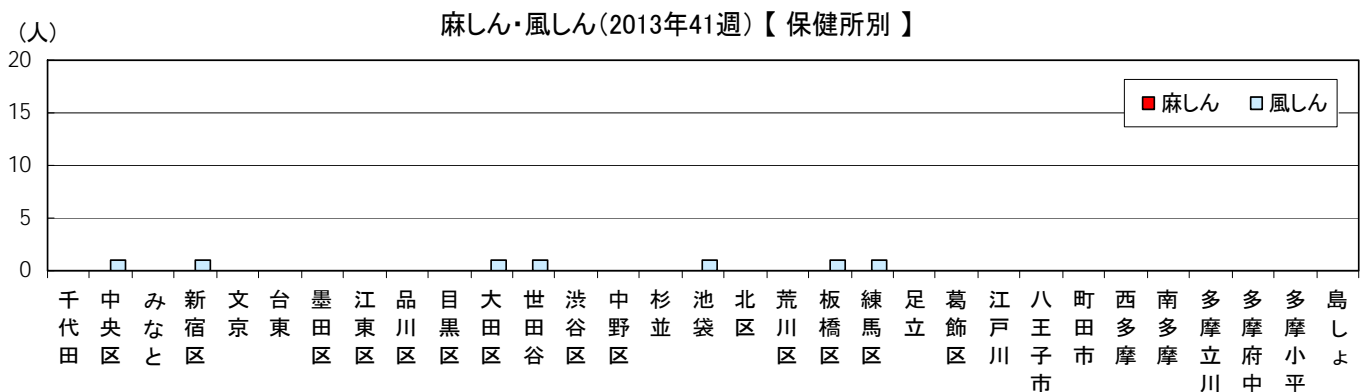
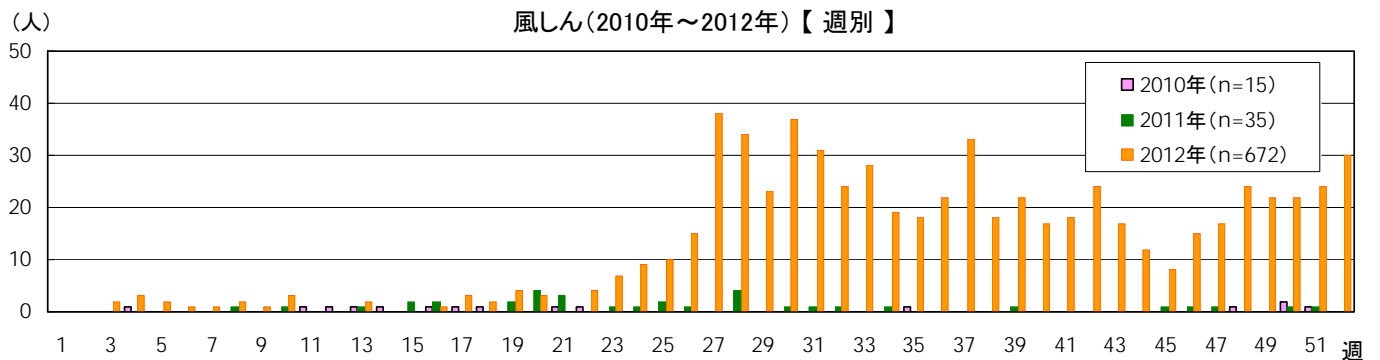
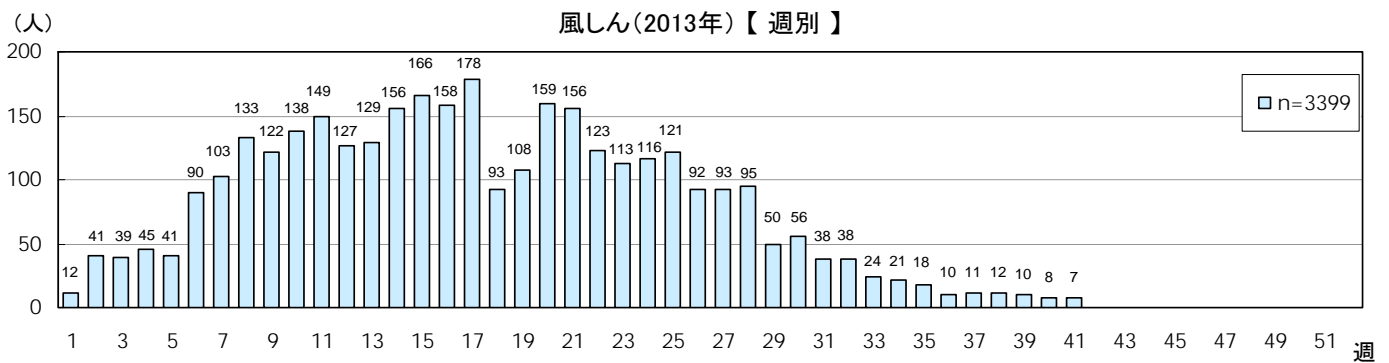
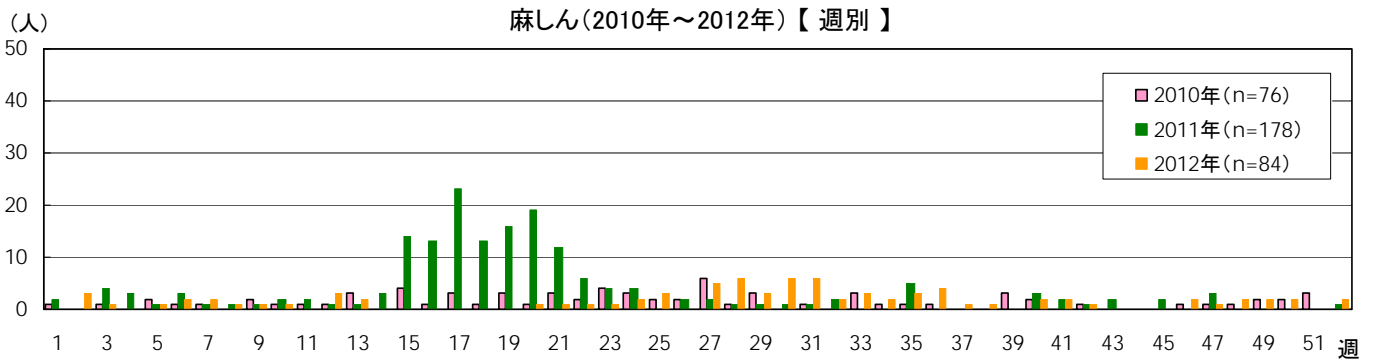
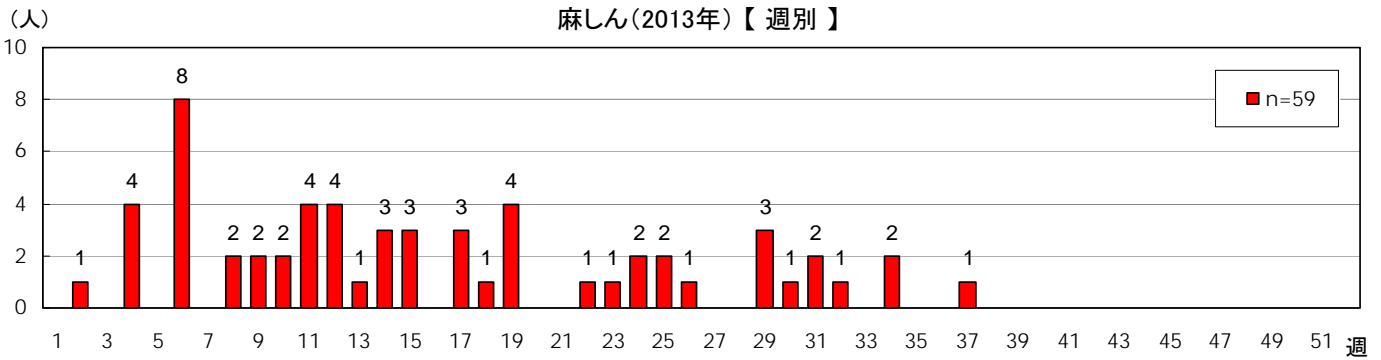
**梅毒 10件** 早期顕症梅毒Ⅰ期 2件、早期顕症梅毒Ⅱ期 4件、無症候梅毒 4件、年齢は20代 3件、30代 2件、50代 2件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 9件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 3件、性別不明 3件、異性間 2件)、その他(不明) 2件であった。

**風しん 7件** 検査診断例 6件、臨床診断例 1件、年齢は20代 2件、30代 4件、40代 1件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、その他(不明) 4件、風しん含有ワクチン接種歴は接種なし 4件、不明 3件であった。

※ 第40週で報告のあった〔五類〕梅毒 1件は削除された。

※ 第40週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

# 全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



## 定点把握対象疾患 報告数 2013年41週

定点種別	対象疾患	2013年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		38週	39週	40週	41週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	263	245	263	322	1.25	257	264
	咽頭結膜熱	117	66	74	96	0.37		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	200	209	290	302	1.18		
	感染性胃腸炎	753	736	898	896	3.49		
	水痘	115	112	162	169	0.66		
	手足口病	558	325	350	384	1.49		
	伝染性紅斑	12	16	21	28	0.11		
	突発性発しん	168	137	173	179	0.70		
	百日咳	2	3	1				
	ヘルパンギーナ	121	74	64	73	0.28		
	流行性耳下腺炎	37	48	49	50	0.19		
	川崎病(注1)	2	1	10	4	0.02		
	不明発しん症(注1)	29	31	28	23	0.09		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	1	1	4	14	0.04	400	419
眼科	急性出血性結膜炎						36	39
	流行性角結膜炎	13	13	10	10	0.28		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)		2	1			25	25
	無菌性髄膜炎	1	3	1	3	0.12		
	マイコプラズマ肺炎	7	6	7	4	0.16		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1	1	2	0.08		
	インフルエンザ入院(注4)							
2013/10/16集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

(注4) 2011年36週より開始

### (今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症の定点あたりの報告数は増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・咽頭結膜熱の定点あたりの報告数は2週連続して増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

### (小児科・内科定点医療機関からのコメント)

#### 墨田区

- ・手足口病の4名は同一保育園児です。
- ・RSウイルス感染5名の所属はさまざまで、保育園に通っていない子もいます。
- RSの1か月児は入院管理になりました。

#### 江東区

- ・インフルエンザA型 1名。

#### 世田谷

- ・アデノウイルス陽性 3名。
- ・マイコプラズマ感染症 1名(13歳)。

#### 荒川区

- ・感染性胃腸炎患者からの便培養
- サルモネラO7群、大腸菌 O18 各1例

#### 板橋区

- ・病原大腸菌O15、エロモナス、
- クレブシエラ オキシトカ 各1例

#### 足立

- ・マイコプラズマ肺炎 9歳児 1名。

#### 葛飾区

- ・アデノ扁桃炎 1歳児 2名。

#### 八王子市

- ・アデノウイルス胃腸炎 7か月児、9か月児 各1名。
- アデノウイルス咽頭炎 2歳児。
- ・アデノウイルス 4歳児。
- ・アデノウイルス感染症 5歳児。

#### 多摩小平

- ・ロタウイルス腸炎 1名、病原性大腸菌 5名。
- ・熱発感冒は多いですが、感染症は少ないです。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2013年41週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
～5か月	38			17	1	5		3		1	1
～1歳	71	2	2	77	9	41		64		11	4
1歳	128	14	7	128	20	122	2	91		17	1
2歳	48	11	15	90	20	52		13		8	3
3歳	24	12	29	101	31	46	2	5		12	4
4歳	11	12	59	84	28	32	3	3		9	11
5歳	1	13	30	59	25	32	5			3	4
6歳		5	46	46	14	11	8			4	10
7歳		5	39	30	8	5	3			2	4
8歳	1	3	17	26	7	5					3
9歳		5	15	32	1	4	1			2	
10～14歳		4	24	93	4	14				3	2
15～19歳		4	6	21	1	3					1
20～29歳		6	13	92		12	4			1	2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	322	96	302	896	169	384	28	179		73	50
先週比	59	22	12	-2	7	34	7	6	-1	9	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹				
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
～5か月		3	1				1			
～1歳		2								
1歳	3	7			1					
2歳		1	1							
3歳		3	3							
4歳	1	2	2							
5歳		1								
6歳		1						1		
7歳										
8歳										
9歳			1		1					
10～14歳		1	1					2		
15～19歳			1		1					
20～29歳		2	1		1		1	1		
30～39歳			1		2					
40～49歳			2		1		1			
50～59歳					2				1	
60～69歳										
70～79歳					1				1	
80歳以上										
合計	4	23	14		10		3	4	2	
先週比	-6	-5	10			-1	2	-3	1	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2013年41週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田		0.33		1.33	1.00	1.00				0.33
中央区	0.67			4.00		1.00		1.00		0.33
みなと	1.50	0.50	0.67	2.83	1.67	3.00		0.67		0.50
新宿区	1.75	0.13	1.13	1.75		0.75		0.50		
文京		0.25	0.50	1.25	2.00	1.75		1.50		0.25
台東	1.25	0.75	1.50	3.50	0.50	4.25		1.00		
墨田区	4.80	0.40	0.20	1.00	0.20	3.60		0.80		
江東区	1.78	0.67	1.11	5.22	1.00	1.56		1.00		0.22
品川区	0.13		0.25	3.75	0.25	1.88		1.00		0.13
目黒区	0.25	0.50		2.00		1.75		0.25		0.25
大田区	2.23	0.54	1.31	7.38	0.38	1.54	0.23	0.31		0.46
世田谷	1.75	0.31	0.69	3.06	0.69	0.94	0.69	0.56		0.06
渋谷区	0.25	0.50	0.50	2.50	0.75	2.25		1.00		0.50
中野区	1.00		0.57	2.86	0.71	1.14		0.71		0.29
杉並	0.20		1.10	3.30	0.50	0.80		0.30		
池袋	2.20	0.20	0.40	1.20	0.20	0.40		0.20		0.80
北区	0.57		0.86	4.29	0.29	0.29	0.14	1.29		
荒川区	3.50	1.00	3.75	5.75	0.25	3.75	0.25	2.00		0.25
板橋区	0.22			2.44	0.33	0.89		0.33		0.11
練馬区	1.00	0.08	0.42	3.92	0.33	2.50	0.08	0.50		0.33
足立	1.00	0.46	0.92	4.77	1.38	1.23	0.08	0.85		0.38
葛飾区	0.50	0.25	0.75	5.50		1.13	0.50	0.75		0.75
江戸川	0.60	1.20	1.50	3.80	0.60	1.10	0.20	0.90		0.20
八王子市	2.36	0.18	3.09	5.55	1.36	1.36		0.82		0.27
町田市	0.50		1.75	5.50	1.38	1.13		1.00		0.88
西多摩	0.13		0.13	2.00	0.25	0.75		0.50		0.13
南多摩	1.67	0.11	2.33	2.56	1.11	1.44		0.89		0.22
多摩立川	1.00	0.36	1.29	2.86	0.86	1.00		0.14		0.50
多摩府中	0.95	0.26	2.58	1.95	0.68	1.47		0.63		0.16
多摩小平	2.60	1.60	1.67	2.60	0.47	2.33	0.27	1.00		0.40
島しょ						3.00				
東京都	1.25	0.37	1.18	3.49	0.66	1.49	0.11	0.70		0.28



定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田											
中央区											
みなと		0.17		0.11							
新宿区						1.00			0.50		
文京	0.50							1.00			
台東											
墨田区			0.40					1.00		1.00	
江東区	0.11		0.11	0.07							
品川区	0.13		0.13								
目黒区											
大田区	0.38		0.08	0.10							
世田谷	0.13			0.12							
渋谷区						1.00				1.00	
中野区	0.14					1.00					
杉並											
池袋						1.00					
北区	0.14		0.43								
荒川区	0.50			0.14							
板橋区	0.11								1.00		
練馬区	0.08	0.17	0.08								
足立	0.46		0.08	0.30		1.50					
葛飾区	0.63		0.13						1.00		
江戸川	0.10		0.10								
八王子市	0.36	0.09	0.55			1.00					
町田市	0.13		0.38								
西多摩	0.63		0.13						1.00		
南多摩	0.44										
多摩立川											
多摩府中	0.32							0.33			
多摩小平	0.07		0.07			0.50					
島しょ											

東京都	0.19	0.02	0.09	0.04		0.28		0.12	0.16	0.08	
-----	------	------	------	------	--	------	--	------	------	------	--

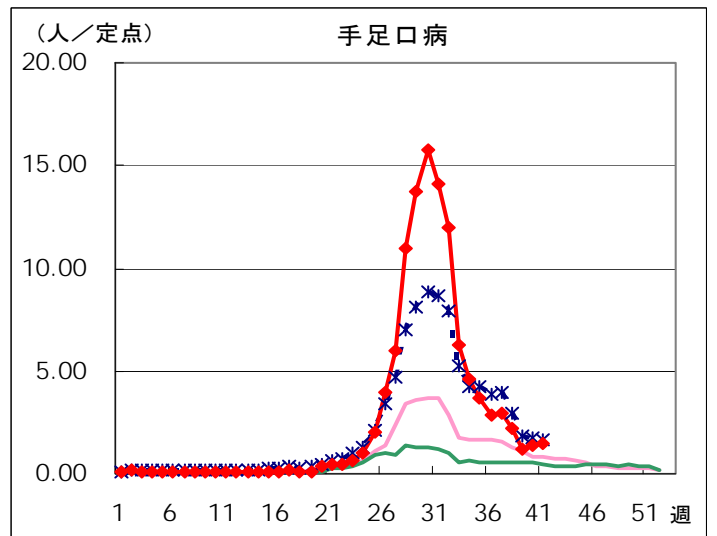
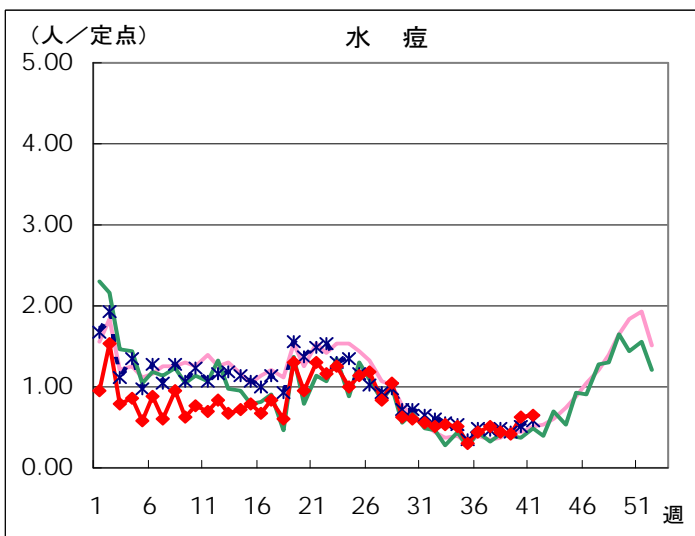
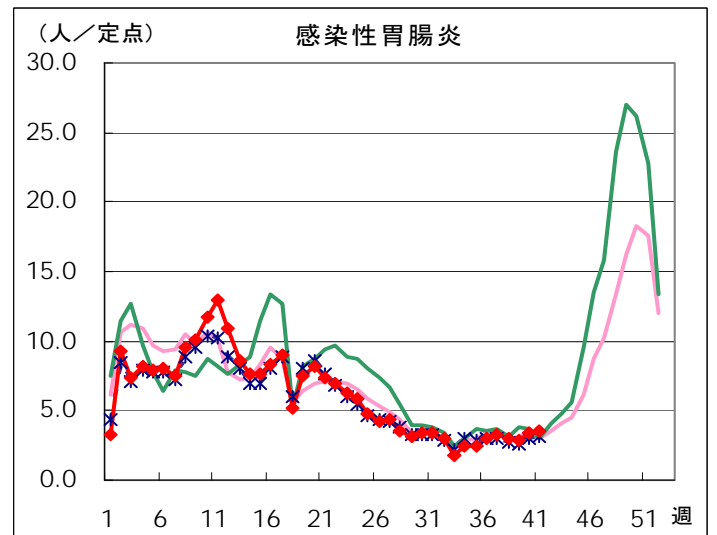
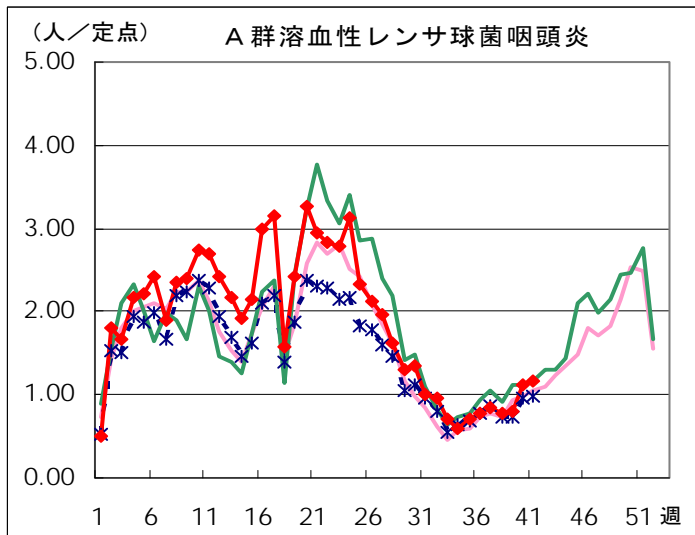
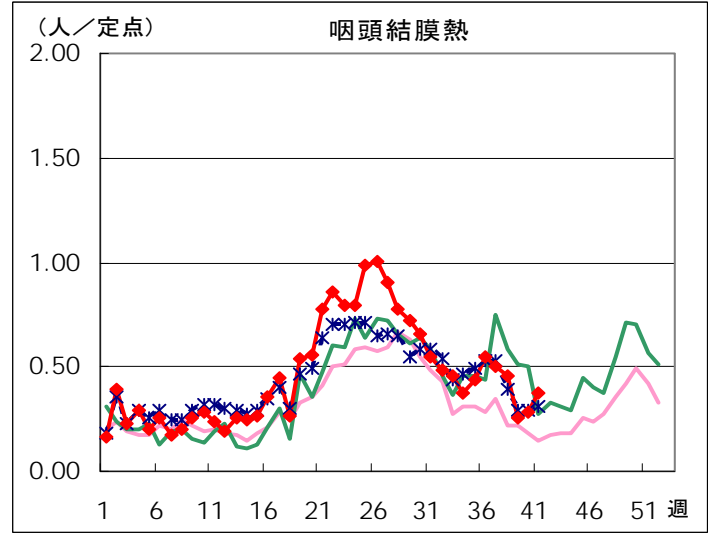
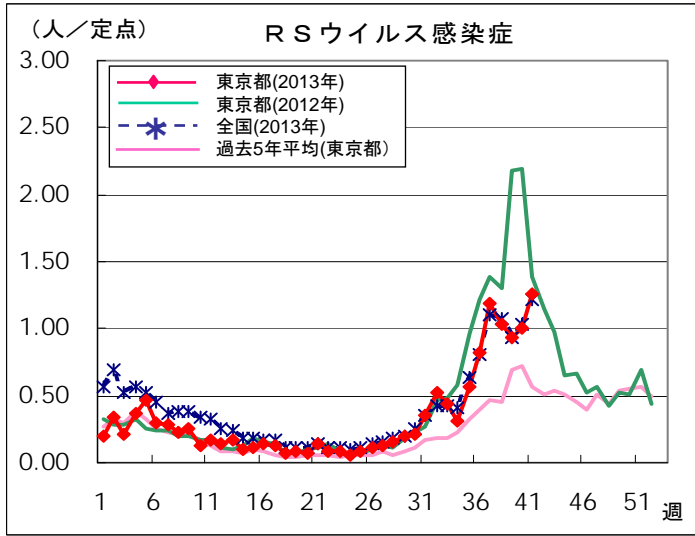
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2013年41週

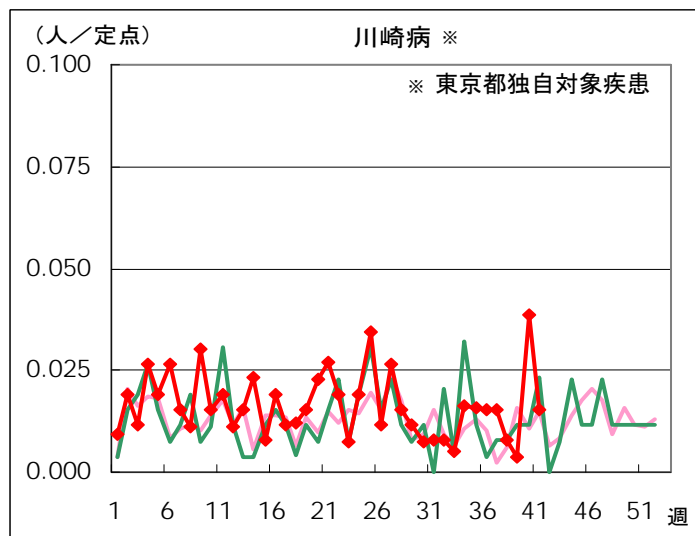
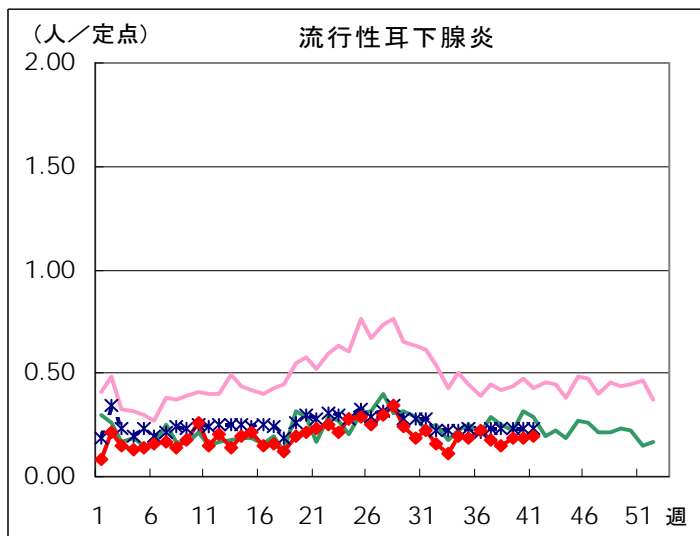
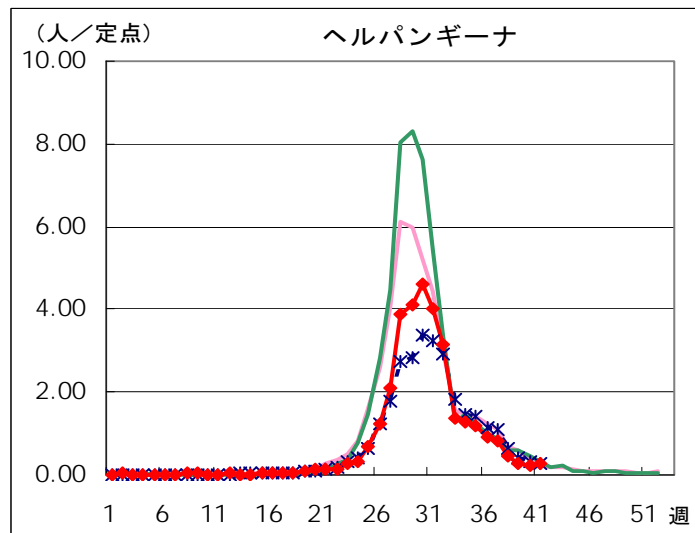
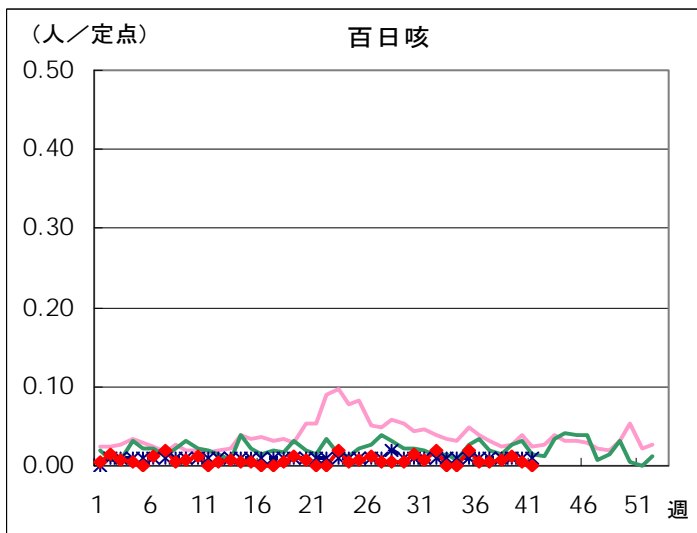
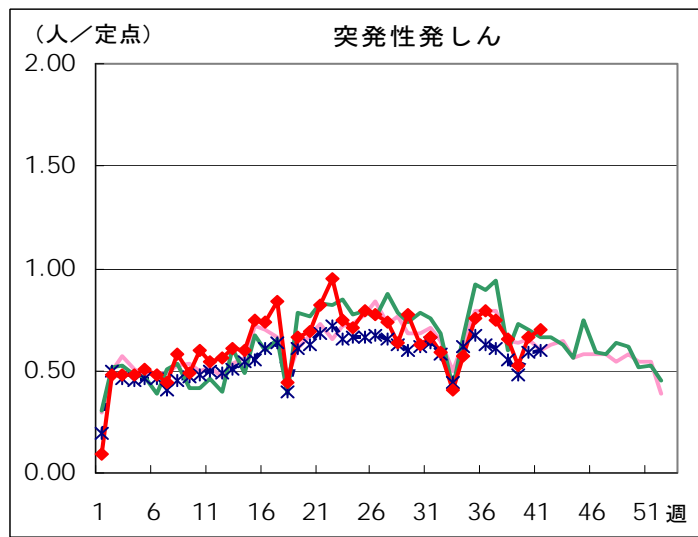
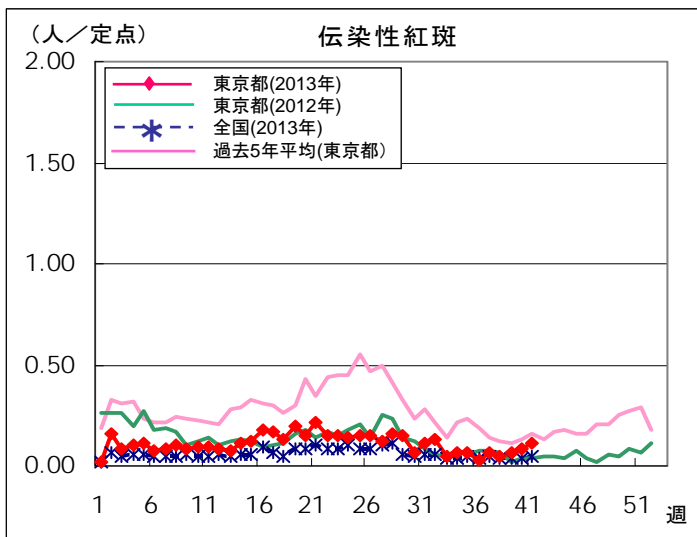
定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田		1		4	3	3				1
中央区	2			12		3		3		1
みなと	9	3	4	17	10	18		4		3
新宿区	14	1	9	14		6		4		
文京		1	2	5	8	7		6		1
台東	5	3	6	14	2	17		4		
墨田区	24	2	1	5	1	18		4		
江東区	16	6	10	47	9	14		9		2
品川区	1		2	30	2	15		8		1
目黒区	1	2		8		7		1		1
大田区	29	7	17	96	5	20	3	4		6
世田谷	28	5	11	49	11	15	11	9		1
渋谷区	1	2	2	10	3	9		4		2
中野区	7		4	20	5	8		5		2
杉並	2		11	33	5	8		3		
池袋	11	1	2	6	1	2		1		4
北区	4		6	30	2	2	1	9		
荒川区	14	4	15	23	1	15	1	8		1
板橋区	2			22	3	8		3		1
練馬区	12	1	5	47	4	30	1	6		4
足立	13	6	12	62	18	16	1	11		5
葛飾区	4	2	6	44		9	4	6		6
江戸川	6	12	15	38	6	11	2	9		2
八王子市	26	2	34	61	15	15		9		3
町田市	4		14	44	11	9		8		7
西多摩	1		1	16	2	6		4		1
南多摩	15	1	21	23	10	13		8		2
多摩立川	14	5	18	40	12	14		2		7
多摩府中	18	5	49	37	13	28		12		3
多摩小平	39	24	25	39	7	35	4	15		6
島しょ						3				
東京都合計	322	96	302	896	169	384	28	179		73

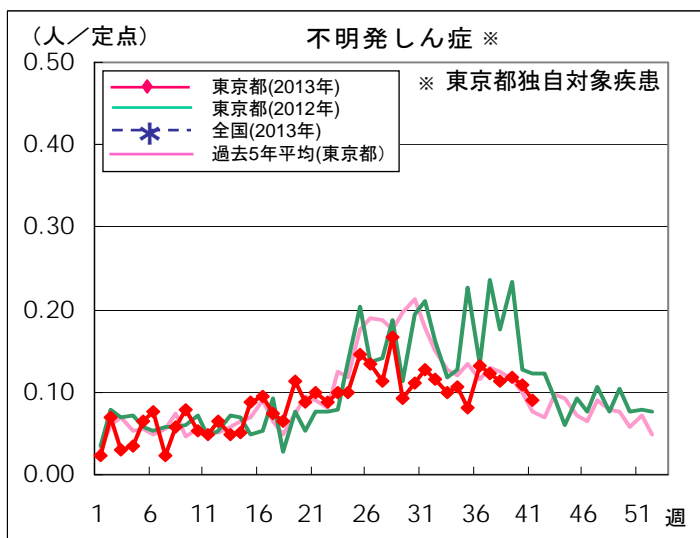
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田											
中央区											
みなと		1		1							
新宿区						1			1		
文京	2							1			
台東											
墨田区			2					1		1	
江東区	1		1	1							
品川区	1		1								
目黒区											
大田区	5		1	2							
世田谷	2			3							
渋谷区						1				1	
中野区	1					1					
杉並											
池袋						1					
北区	1		3								
荒川区	2			1							
板橋区	1								1		
練馬区	1	2	1								
足立	6		1	6		3					
葛飾区	5		1						1		
江戸川	1		1								
八王子市	4	1	6			2					
町田市	1		3								
西多摩	5		1						1		
南多摩	4										
多摩立川											
多摩府中	6							1			
多摩小平	1		1			1					
島しょ											
東京都合計	50	4	23	14		10		3	4	2	

# 定点把握対象疾患 週別報告数(2013年41週 現在)

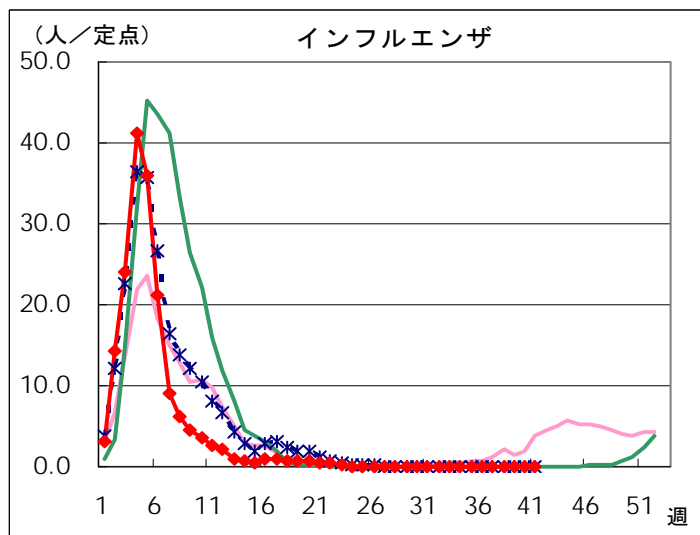
## ◆ 小児科定点



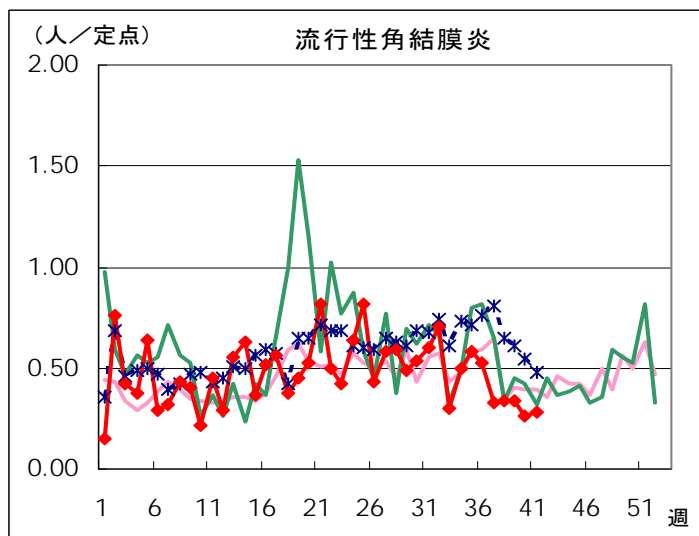
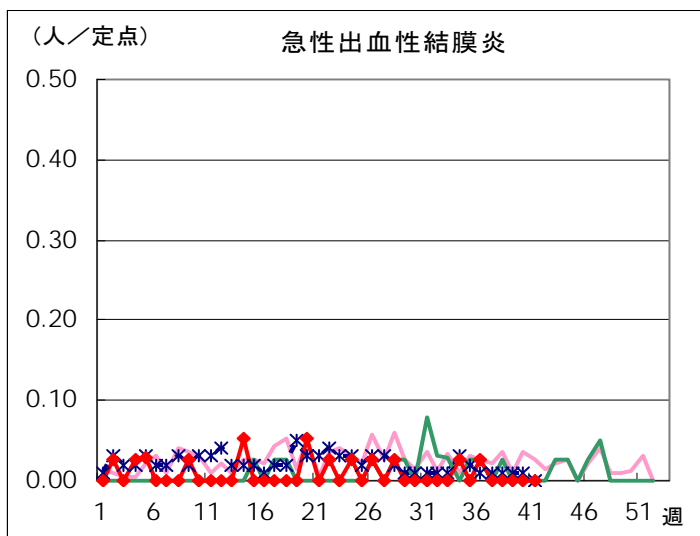




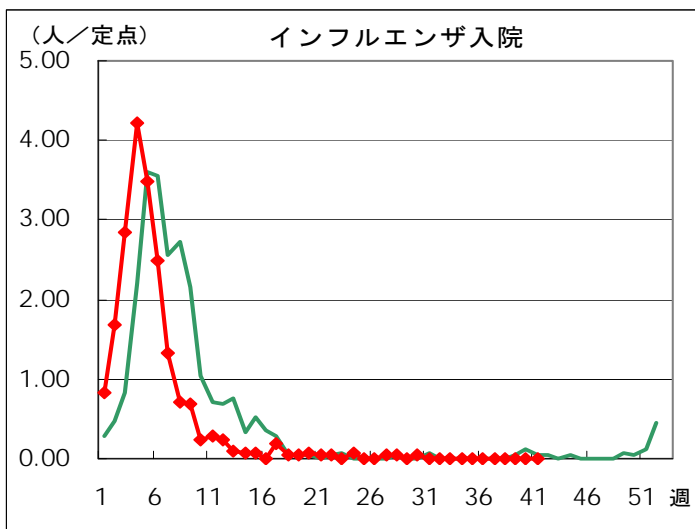
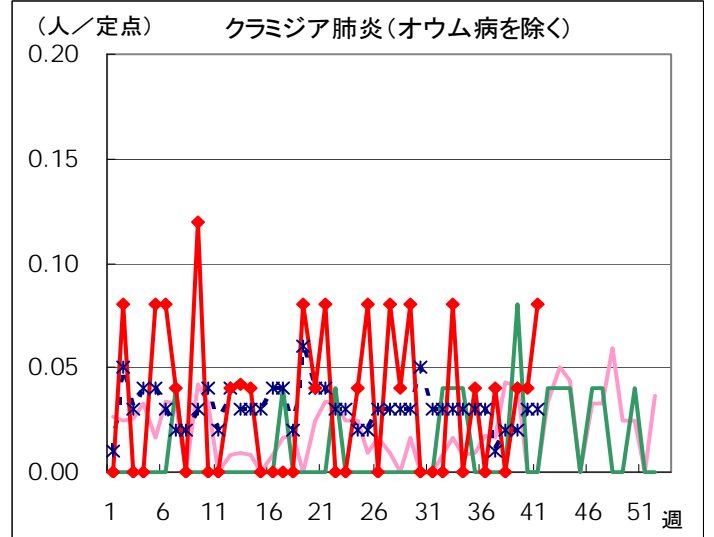
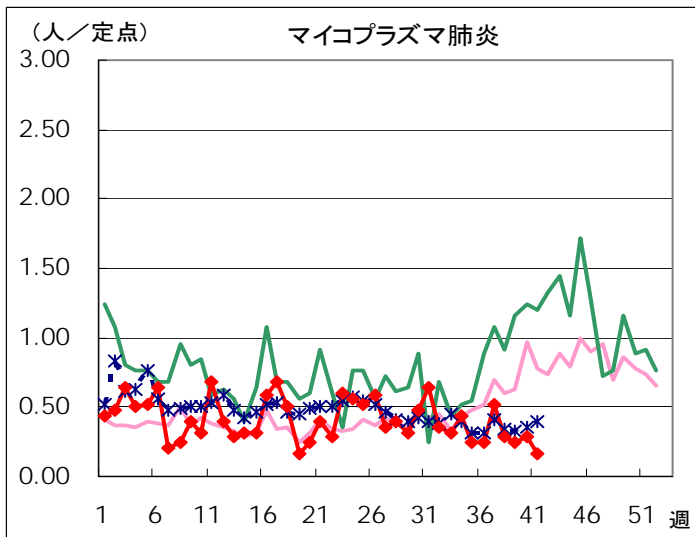
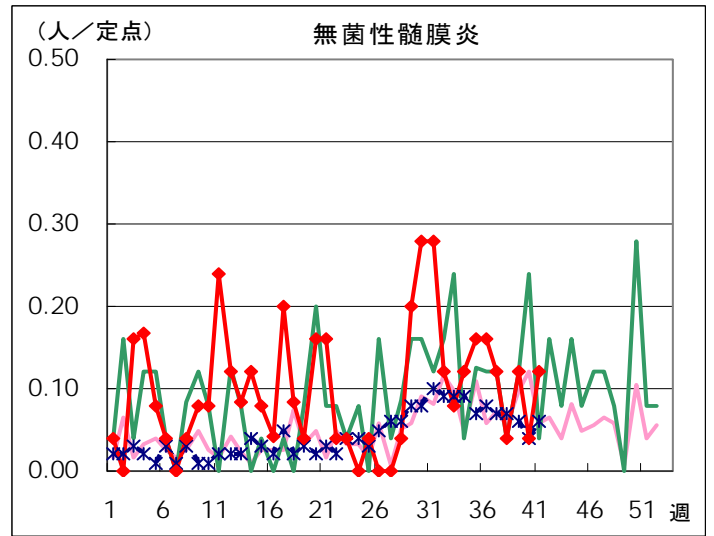
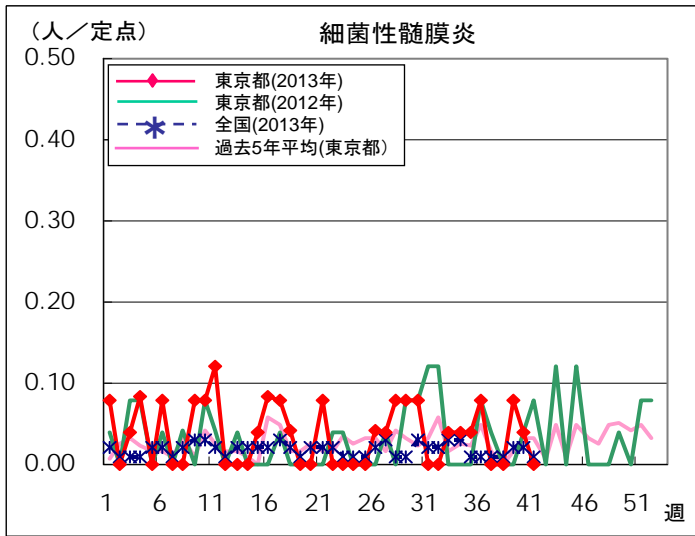
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/1	感染性胃腸炎	3M	糞便	ライノウイルス	遺伝子
9/19	喘息性気管支炎	11M	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/2	気管支炎 副鼻腔炎	1	鼻汁	RSウイルス ライノウイルス パラインフルエンザウイルス 3型	
10/1	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/14	水痘 手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	
9/30	手足口病	1	咽頭拭い液	風しんウイルス コクサッキーウイルス A群6型	
10/3	伝染性紅斑 不明発しん症	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
10/4	不明発しん症	1	結膜拭い液	ライノウイルス	
10/1	無菌性髄膜炎	1	髄液	ムンプスウイルス	
9/25	細気管支炎 RSウイルス感染症	2	鼻汁	RSウイルス	
9/30	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群8型	
9/24	喘息性気管支炎	3	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/3	不明発しん症	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/3	ウイルス性発しん症	5	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/30	手足口病	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	
9/26	夏風邪 手足口病	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	
10/3	急性咽頭炎	7	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス コクサッキーウイルス A群6型	
9/25	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	EBウイルス ライノウイルス	
9/17	リンパ節炎 化膿性扁桃腺炎	17	咽頭拭い液	EBウイルス	
10/2	手足口病	記載なし	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

※「40週」は全て0件でした。

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
40週				
2013-2014年 シーズン累計**				

\* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

\*\* 2013-2014シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)



病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年							
		33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週
ウイルス	アデノウイルス	1	4	2	3	3		1	
	ライノウイルス		4	3	3	3	2	5	7
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群	3	6	6	6	4	2		7
	コクサッキーウイルスB群			1		1			
	エコーウイルス	2				3	1	3	
	エンテロウイルス71	2	3	1	5	2	4		
	その他のエンテロウイルス		4	4	2				1
	単純ヘルペスウイルス		1						1
	水痘・帯状疱疹ウイルス			1	1			1	
	ヘルペスウイルス6/7	4	4	4	6	6	2	2	1
	EBウイルス		2		2		1		2
	サイトメガロウイルス			1	3			1	
	ムンプスウイルス	1	1		2				1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス						2		1
	パルボウイルスB19				1	1			
	RSウイルス	1			3	2	1	3	4
	ノロウイルス			1					
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)							1		
その他のウイルス	2	4		1			2	1	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年33週～2013年40週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		4	36	46	19	50	7	1	6	7	28	1	27	11	2	1		65	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		1	1	1		5		3		2							1	
	ライノウイルス		5	12	1		1						4	1				3	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群	4	5							4	17		3					1	
	コクサッキーウイルスB群			1		1													
	エコーウイルス		1			1							4					3	
	エンテロウイルス71		2	1		4					9							1	
	その他のエンテロウイルス		1	1		3	1		1	1			3						
	単純ヘルペスウイルス		1			1													
	水痘・帯状疱疹しんウイルス										1				2				
	ヘルペスウイルス6/7		1	1		1				1	9		6						10
	EBウイルス													3					4
	サイトメガロウイルス									1				4					
	ムンプスウイルス					2								3					
	麻しんウイルス																		
	風しんウイルス										2		1						
	パルボウイルスB19		1										1						
	RSウイルス		3	11															
	ノロウイルス					1													
	ロタウイルス																		
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3																			
インフルエンザウイルスB																			
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)																		1	
その他のウイルス		2	8																
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

## 月報告 定点把握対象疾患 報告数 2013年9月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	114	2.11	190	3.52	54	55
		女	76	1.41				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	74	1.37	109	2.02		
		女	35	0.65				
	尖圭コンジローマ	男	50	0.93	71	1.31		
		女	21	0.39				
	淋菌感染症	男	89	1.65	94	1.74		
		女	5	0.09				
	膣トリコモナス症 *1	男			6	0.11		
		女	6	0.11				
梅毒様疾患	男	10	0.19	11	0.20			
	女	1	0.02					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	71	2.84	111	4.44	25	25
		女	40	1.60				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	21	0.84	35	1.40		
		女	14	0.56				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	2	0.08	3	0.12		
		女	1	0.04				
	薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	男						
		女						

2013/10/15

\*1 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

\*2 2011年2月1日より新たに指定された。

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2013年9月

男										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							10	3		
1～4歳							13	6		
5～9歳							2	1		
10～14歳							1	1		
15～19歳	5		1	4			3			
20～24歳	16	3	3	10		1		1		
25～29歳	18	8	5	17		2	2			
30～34歳	27	13	9	14		3				
35～39歳	20	13	14	17		2	1	1		
40～44歳	11	12	8	7						
45～49歳	9	9	5	8		1	1	2		
50～54歳	2	6	3	4		1	1			
55～59歳	3	3	1	2			2			
60～64歳	2	4	1	1			4			
65～69歳		1		3			7	1		
70歳～	1	2		2			24	5	2	
合計	114	74	50	89		10	71	21	2	
先月数	94	60	51	74		8	64	22	4	
増減数	20	14	-1	15		2	7	-1	-2	

女										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							13	2		
1～4歳							4	3		
5～9歳							1	1		
10～14歳							1			
15～19歳	9	1	2							
20～24歳	29	6	7	1	2					
25～29歳	18	7	6	3	1					
30～34歳	12	3	3	1			1			
35～39歳	7	4	2		1	1	1	1		
40～44歳	1	3			1		2	1		
45～49歳		4			1					
50～54歳		3	1				1			
55～59歳		1					1			
60～64歳		1					2			
65～69歳		1								
70歳～		1					13	6	1	
合計	76	35	21	5	6	1	40	14	1	
先月数	71	34	16	19	9		40	18		
増減数	5	1	5	-14	-3	1		-4	1	

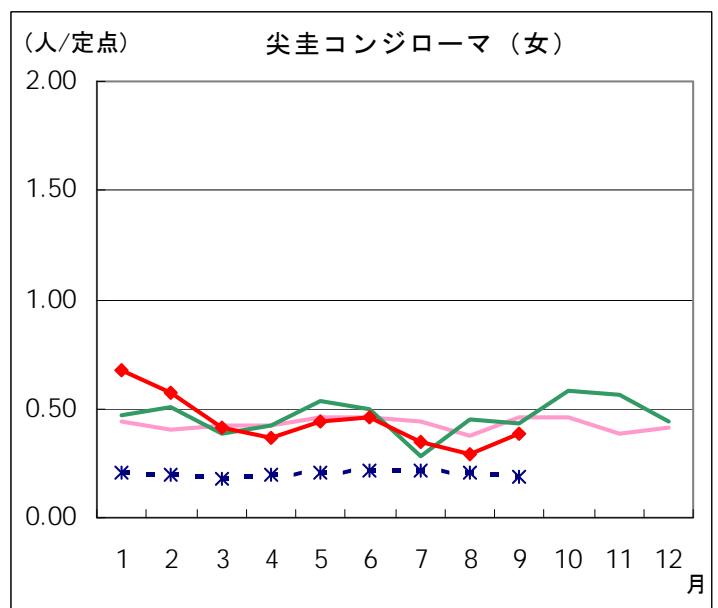
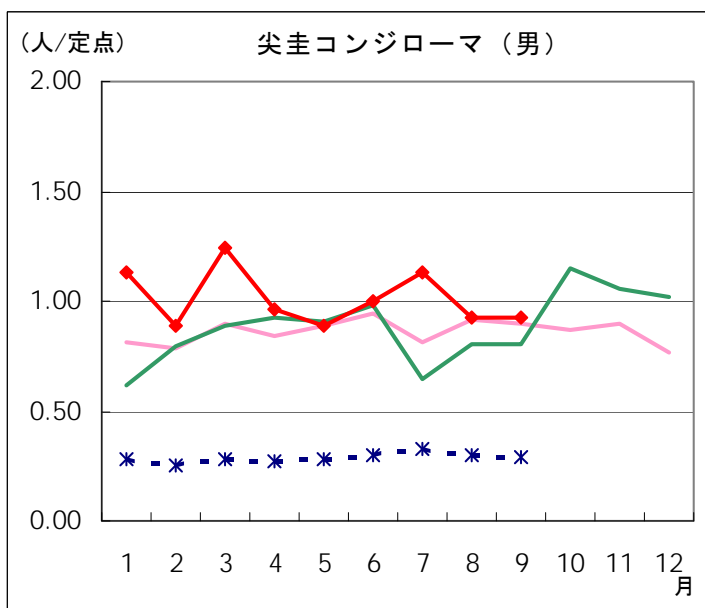
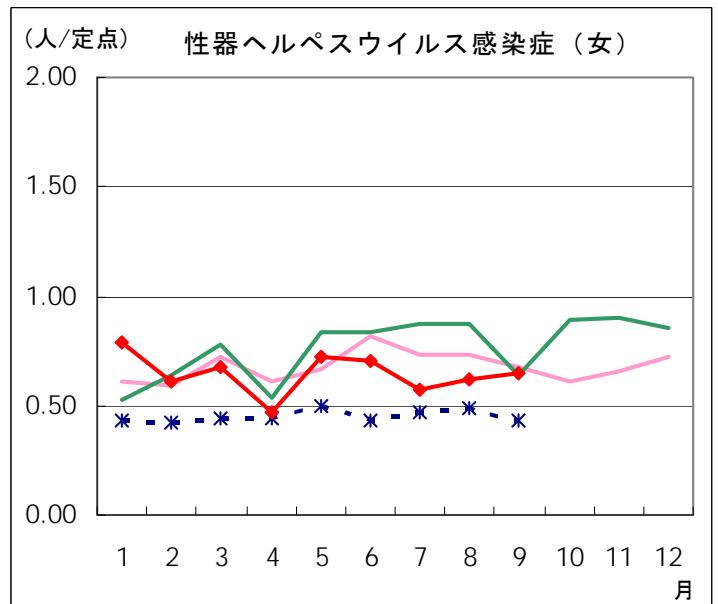
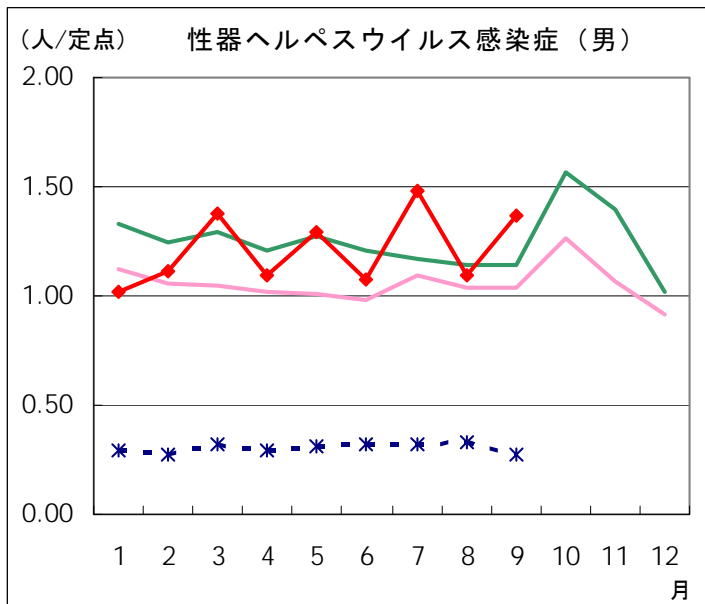
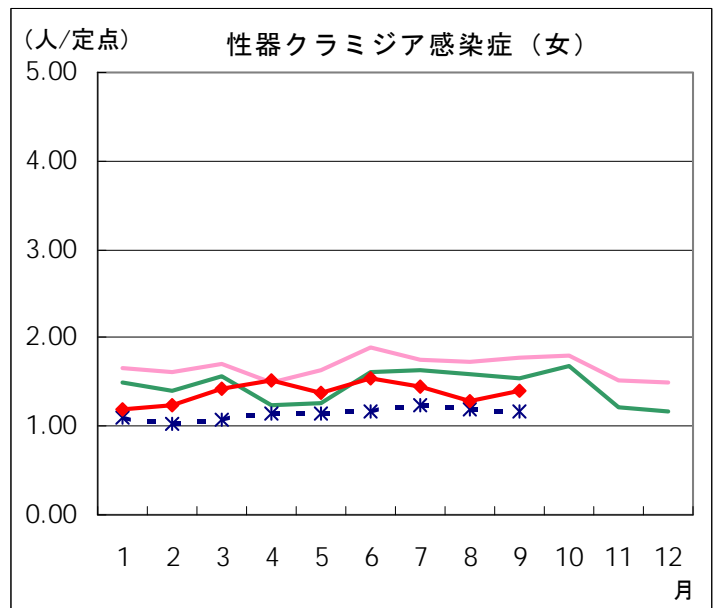
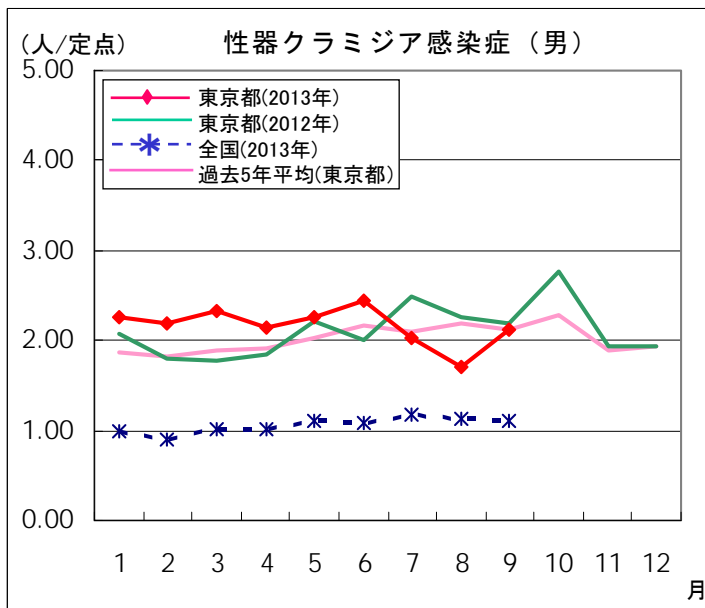
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2013年9月

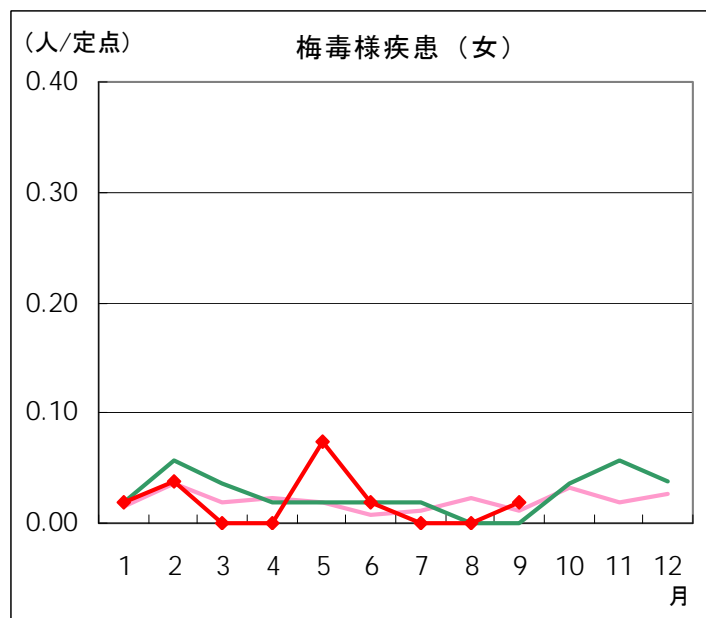
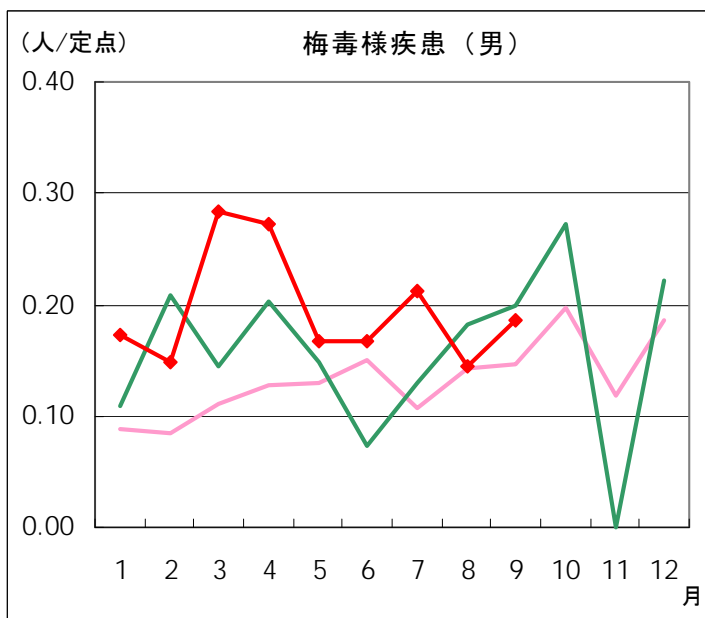
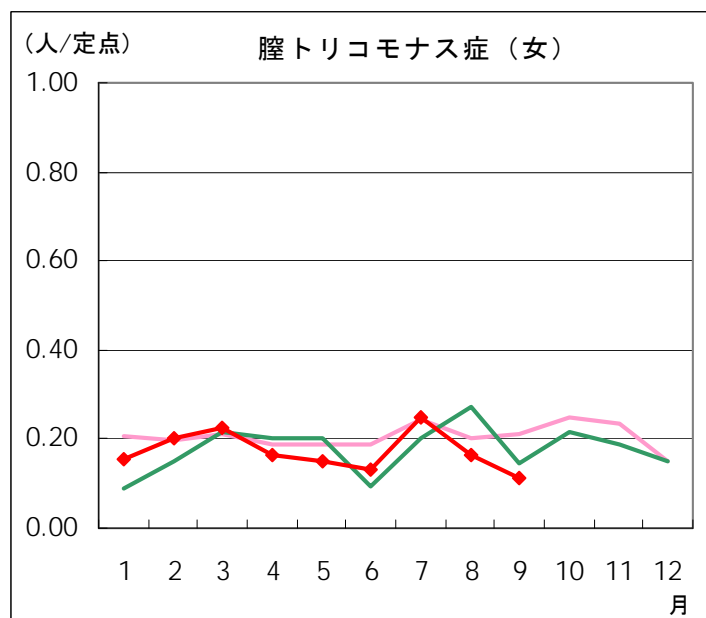
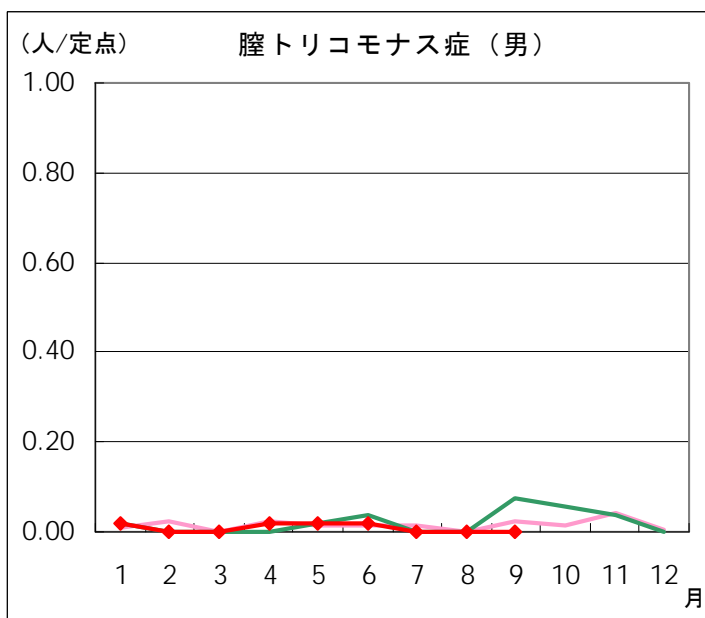
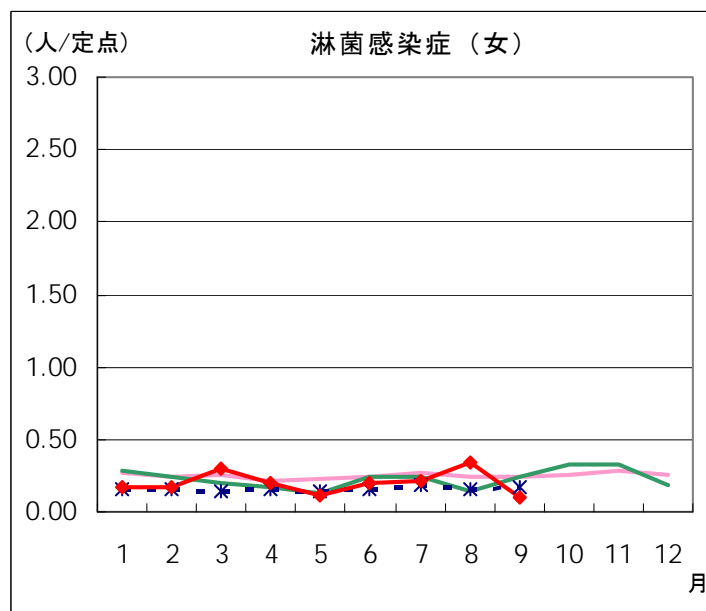
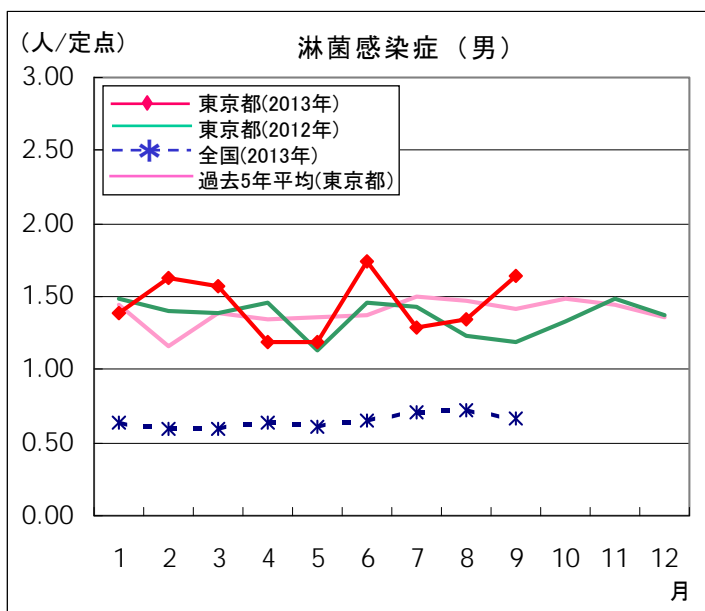
男								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総 計
千代田	2	15	5	9	12			41
中央区	3	9	8	1	2			20
みなと	2	2	29	7	2			40
新宿区	7	34	13	21	31		8	107
文京	1	7		2	8			17
台東	2	1						1
墨田区	2	1			2			3
江東区	2	6	5		10			21
品川区	1	8	6		5			19
大田区	2	3			3			6
渋谷区	4	2	2	2	1			7
中野区	2	1	2	1	1			5
杉並	2	9			2			11
池袋	3	11	4	4	7		2	28
北区	1			2	1			3
荒川区	1							
板橋区	2	1			1			2
足立	2	1						1
江戸川	2	1						1
八王子市	4							
町田市	1							
多摩立川	2	2						2
多摩府中	3			1	1			2
多摩小平	1							
合 計	54	114	74	50	89		10	337
定点当たり		2.11	1.37	0.93	1.65		0.19	6.24

女								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総 計
千代田	2	3		2	1			6
中央区	3	3		1				4
みなと	2	4	5	4				13
新宿区	7	6	4	5	1			16
文京	1							
台東	2		1			2		3
墨田区	2	4						4
江東区	2	1						1
品川区	1							
大田区	2	5			1		1	7
渋谷区	4	6	9	4				19
中野区	2	1		2				3
杉並	2	1						1
池袋	3	6	8	1	1	2		18
北区	1							
荒川区	1	1						1
板橋区	2	2	1		1			4
足立	2	3						3
江戸川	2	8	1	1		2		12
八王子市	4	4	2					6
町田市	1	6	2	1				9
多摩立川	2	12	2					14
多摩府中	3							
多摩小平	1							
合 計	54	76	35	21	5	6	1	144
定点当たり		1.41	0.65	0.39	0.09	0.11	0.02	2.67

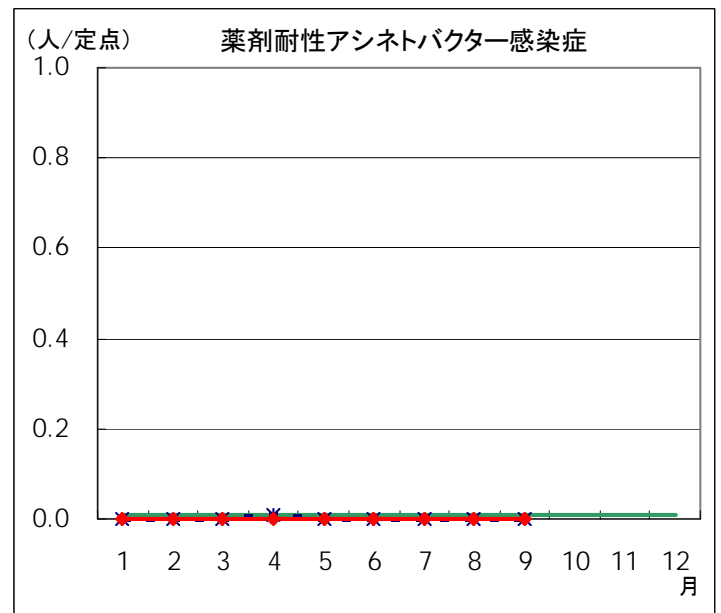
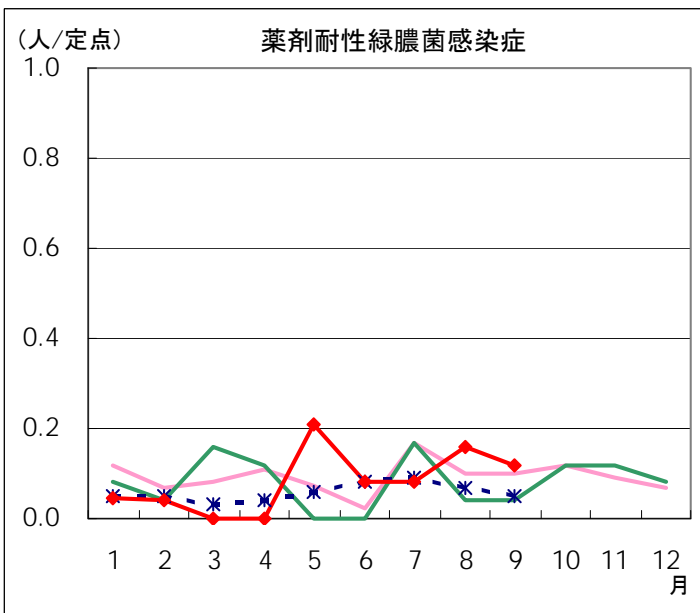
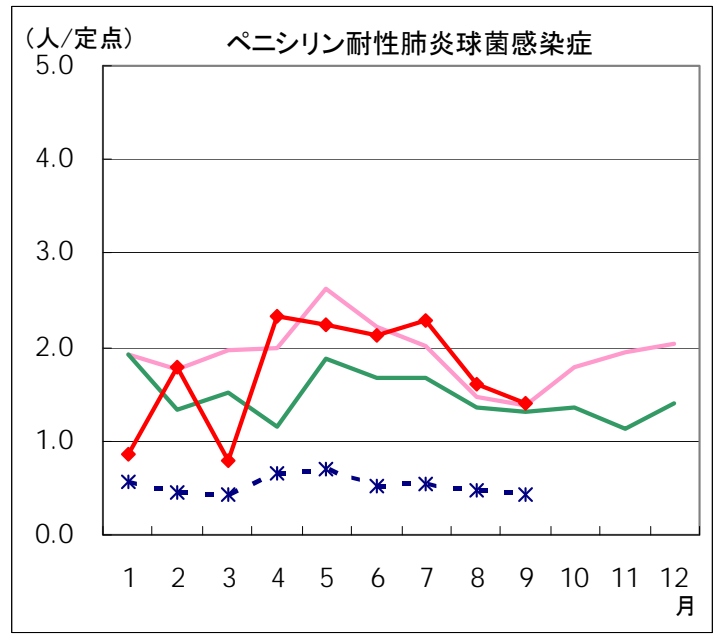
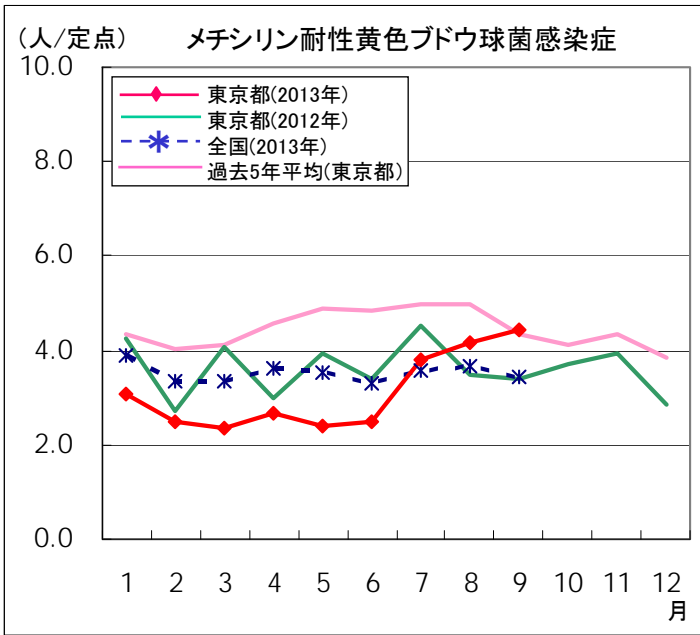
# 月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2013年9月現在

## ◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点





## 月報告 病原体検査情報

### ◇病原体検出状況

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
9/18	淋菌性尿道炎	22	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子
9/18	淋菌性尿道炎	25	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
9/11	淋菌性尿道炎	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子
9/4	陰茎コンジローマ	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	
9/30	尖圭コンジローマ	29	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	
9/25	陰茎ヘルペス	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 1型	
9/30	ヒトパピローマウイルス 感染症疑い	31	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 52型	
9/11	尿道炎	31	男	尿	クラミジア	
9/4	尿道炎	32	男	尿	クラミジア	
9/11	淋菌性尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌 クラミジア	遺伝子 分離同定
9/25	尿道炎	35	男	尿	クラミジア	遺伝子
9/11	尿道炎	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
9/18	淋菌性尿道炎	38	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
9/25	尿道炎	40	男	尿	クラミジア	遺伝子
9/4	尿道炎	40	男	尿	クラミジア	
9/11	尿道炎	43	男	尿	クラミジア	
9/13	尖圭コンジローマ	44	男	コンジローマ患部生検	ヒトパピローマウイルス 11型	
9/18	淋菌性尿道炎	44	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
9/25	淋菌性尿道炎	46	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
9/11	淋菌性尿道炎	48	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
9/25	陰茎ヘルペス	49	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	遺伝子
9/25	陰茎ヘルペス疑い	49	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	
9/11	外陰部ヘルペス	49	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	
9/25	尿道炎	49	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
9/25	尿道炎	51	男	尿	クラミジア	遺伝子
9/18	陰茎ヘルペス疑い	60	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	

## <感染症豆知識>

### 五類感染症の対象疾病の追加

2013年4月1日に感染症法施行規則が改正され、インフルエンザ菌および肺炎球菌を含めた細菌性髄膜炎が定点報告のみから、新たに「侵襲性インフルエンザ菌感染症」および「侵襲性肺炎球菌感染症」として五類感染症全数届出対象となった。また、「髄膜炎菌性髄膜炎」は届出基準が変更され「侵襲性髄膜炎菌感染症」となった。

これらの改正の背景として、ワクチン接種が今後行われるにあたり、インフルエンザ菌および肺炎球菌感染症の傾向と流行する血清型の変化を把握する必要があったこと、また髄膜炎菌症では従来の届出対象とならない敗血症など髄膜炎以外の症状を示す集団感染（学生寮等）の把握が求められていたことがあげられる。なお、「侵襲性」は本来無菌の髄液または血液から菌が検出された場合を指す。

侵襲性インフルエンザ菌感染症の発症は一般に突発的であり、上気道炎や中耳炎を伴うことがある。髄膜炎症状（頭痛、発熱、髄膜刺激症状の他、痙攣、意識障害、乳児では大泉門膨隆等）あるいは敗血症症状（発熱、悪寒、虚脱や発疹）を呈すが、臨床症状が特異的ではないことも多く、急速に重症化してショックを来すことがある。

侵襲性肺炎球菌感染症は小児では発熱のみを初期症状とした感染巣のはっきりしない菌血症を示したり、肺炎球菌性の中耳炎に続いて髄膜炎を発症することがある。成人では発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く、髄膜炎症状を示すことがある。

侵襲性髄膜炎菌感染症の潜伏期間は2～10日（平均4日）、発症は突発的である。髄膜炎症状や敗血症症状を示す。点状出血が眼球結膜や口腔粘膜、皮膚に認められ、また出血斑が体幹や下肢に認められる。

いずれも臨床症状に加えて分離・同定により病原体、あるいはPCR法による病原体の遺伝子が髄液または血液から検出されることが届出の要件となる。

（文責 東京都健康安全研究センター 杉下由行）